



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月26日

上場会社名 株式会社ヤマナカ 上場取引所 名  
 コード番号 8190 URL https://www.super-yamanaka.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中野 義久  
 問合せ先責任者 (役職名)管理ユニット長 (氏名)野間 祐也 (TEL)052-937-9310  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月27日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年3月21日~2021年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	24,412	△4.9	438	△52.1	457	△51.5	327	△38.8
2021年3月期第1四半期	25,669	8.2	915	291.9	943	238.1	536	175.2

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 150百万円 (△80.7%) 2021年3月期第1四半期 780百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	17.12	—
2021年3月期第1四半期	27.99	—

(注) 営業収益は、連結損益計算書の「売上高」と「営業収入」を合計して記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	40,574	16,630	41.0
2021年3月期	42,163	16,573	39.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 16,630百万円 2021年3月期 16,573百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年3月21日~2022年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	94,800	△5.0	1,000	△51.2	1,100	△49.2	750	△16.4
								39.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日(2021年7月26日)公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期1Q	20,425,218株	2021年3月期	20,425,218株
2022年3月期1Q	1,265,077株	2021年3月期	1,270,577株
2022年3月期1Q	19,156,256株	2021年3月期1Q	19,154,679株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

- (注) 期末自己株式には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2022年3月期1Q102,800株、2021年3月期108,300株)が含まれております。また、期中平均株式の算定上控除する自己株式には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2022年3月期1Q106,685株、2021年3月期1Q108,300株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の長期化により、一部地域において緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置が断続的に実施されるなど予断を許さない状況が続きました。また、新型コロナウイルスワクチンの接種が本格化してきているものの、新型コロナウイルス感染症の収束時期は見通すことができず、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましては、外出自粛に伴う巣ごもり消費による内食需要が継続しているもののその効果は一巡し、また個人所得の減少による消費マインド低下や業種業態を超えた顧客獲得の競争激化など、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした状況の中、当社グループは、グループの使命「顧客価値創造」実践のため、グループ各社と連携を図りながら、お客様に提供する商品・サービス・接客のレベルを高めるとともに、地域社会への貢献や地球環境に配慮した活動を行っていくことなどにより、お客様にヤマナカグループの価値を認めていただけるよう、成長戦略として、①顧客価値創造の実践、②従業員の成長戦略、③業務改革の断行、④リスクマネジメントの適正化に取り組んでおります。

顧客価値創造の実践では、ユーザー数の多いネット媒体へのチラシ広告掲載によるデジタル販促を開始いたしました。また、連結子会社のサンデイリー株式会社を活用した商品開発など“ヤマナカ・フランテならではの商品”の展開を推進するとともに、2021年3月21日付で連結子会社であった株式会社アイビーを吸収合併し、食品売場と花売場の連携強化を図ったことで花の売上が伸長しました。

従業員の成長戦略では、従業員の成長・育成を推進すべく、社員の評価制度の見直しを行いました。また、若手社員の育成、シニア社員の活用などの課題整理を行うとともに、女性幹部育成について、女性活躍推進法に基づく2021年4月からの新行動計画を策定しました。

業務改革の断行では、業務の効率化を目的に、本部と店舗間のコミュニケーションツールや販売データなどの分析システムの刷新を図りました。

リスクマネジメントの適正化では、当社グループの「衛生管理基本方針」に基づき感染症拡大の防止に継続して取り組んでおります。また、2021年6月の食品衛生法一部改正に基づくHACCPに沿った衛生管理の制度化対応として、マニュアルの整備や教育研修の実施など衛生管理の徹底を図りました。その他、サイバー攻撃や標的型攻撃メール等への対応としてハード面でのサーバー、パソコン入れ替えやソフト面でのシステムの刷新による情報セキュリティ体制の強化を図りました。

また、「当社グループは、企業理念の実現を目指し、使命である顧客価値創造の1つとして、ESG活動を継続的に取り組んでいく」ことを「ESG活動方針」として制定し、地元商品の取り扱いによるフードマイレージの取り組み、予約販売の強化等による食品ロスの削減など、温室効果ガス削減、食品ロス削減、容器包装使用量削減の環境負荷低減の活動や、地域社会の一員として店舗が主体となって献血場所の提供や地域交通安全の啓蒙など社会貢献活動に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、巣ごもり消費の急拡大により販売が好調だった前年からの反動などもあり、既存店売上高が前年同期比95.3%と減少したことから、売上高に営業収入を加えた営業収益は244億12百万円（前年同期比4.9%減）となりました。利益面においては、売上高の減少に伴い、営業利益は4億38百万円（前年同期比52.1%減）、経常利益は4億57百万円（前年同期比51.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億27百万円（前年同期比38.8%減）となりました。

なお、セグメント別の実績については、当社グループは「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億88百万円減少し、405億74百万円となりました。これは主に現金及び預金が10億74百万円、投資有価証券が2億55百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ16億46百万円減少し、239億43百万円となりました。これは主に有利子負債が15億54百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ57百万円増加し、166億30百万円となりました。これは主に其他有価証券評価差額金が1億60百万円減少したものの、利益剰余金が2億31百万円増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,599	3,525
売掛金	1,211	1,380
商品及び製品	2,524	2,590
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	148	72
その他	1,442	1,296
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	9,927	8,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,958	7,861
土地	13,366	13,366
その他(純額)	1,604	1,570
有形固定資産合計	22,929	22,798
無形固定資産		
借地権	268	265
ソフトウェア	429	409
その他	28	28
無形固定資産合計	727	704
投資その他の資産		
投資有価証券	3,031	2,775
差入保証金	4,641	4,528
繰延税金資産	26	22
退職給付に係る資産	541	546
その他	333	332
貸倒引当金	△49	△49
投資その他の資産合計	8,524	8,157
固定資産合計	32,181	31,659
繰延資産	53	49
資産合計	42,163	40,574

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,003	5,724
短期借入金	200	200
1年内償還予定の社債	1,330	1,490
1年内返済予定の長期借入金	1,923	1,498
未払費用	1,124	1,627
未払法人税等	666	270
賞与引当金	327	92
ポイント引当金	141	142
店舗等閉鎖損失引当金	19	19
資産除去債務	31	31
その他	2,901	2,348
流動負債合計	13,669	13,446
固定負債		
社債	3,885	2,860
長期借入金	4,972	4,695
リース債務	275	284
繰延税金負債	399	275
役員株式給付引当金	59	59
長期預り保証金	827	826
資産除去債務	1,293	1,298
その他	206	197
固定負債合計	11,920	10,497
負債合計	25,590	23,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,220	4,220
資本剰余金	6,538	6,538
利益剰余金	6,563	6,795
自己株式	△1,962	△1,958
株主資本合計	15,359	15,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,047	887
退職給付に係る調整累計額	165	148
その他の包括利益累計額合計	1,213	1,035
純資産合計	16,573	16,630
負債純資産合計	42,163	40,574

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月21日 至2020年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月21日 至2021年6月20日)
売上高	24,518	23,215
売上原価	17,981	17,202
売上総利益	6,537	6,013
営業収入	1,151	1,197
営業総利益	7,688	7,210
販売費及び一般管理費	6,772	6,771
営業利益	915	438
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	7
持分法による投資利益	4	3
情報提供料収入	12	12
その他	23	23
営業外収益合計	47	46
営業外費用		
支払利息	10	12
社債発行費償却	4	4
その他	4	10
営業外費用合計	20	27
経常利益	943	457
特別利益		
投資有価証券売却益	-	52
特別利益合計	-	52
特別損失		
固定資産除却損	5	7
臨時休業等による損失	50	-
特別損失合計	55	7
税金等調整前四半期純利益	887	503
法人税、住民税及び事業税	371	216
法人税等調整額	△20	△41
法人税等合計	351	175
四半期純利益	536	327
親会社株主に帰属する四半期純利益	536	327

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月21日 至2020年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月21日 至2021年6月20日)
四半期純利益	536	327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	235	△160
退職給付に係る調整額	8	△16
その他の包括利益合計	244	△177
四半期包括利益	780	150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	780	150
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年3月21日 至 2020年6月20日)及び当第1四半期連結累計期間

(自 2021年3月21日 至 2021年6月20日)

当社グループは、「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。